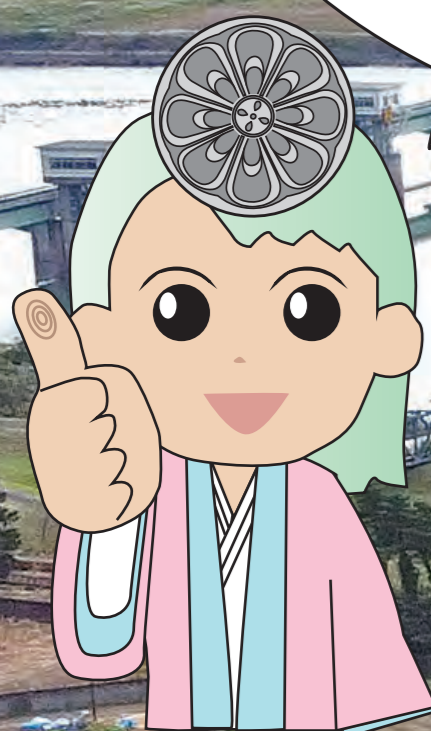


逢隈駅

阿武隈川にも近いし、
水陸の要所にあるのね！



阿武隈川

常磐線

遺跡遠景（北西から）

大溝

うま や ちゅうすう

駅家の中枢施設を発見か？

④原遺跡（岩沼市南長谷）



あぶくまがわ しぜんていぼう
岩沼市南部の阿武隈川左岸の自然堤防上に立地する、奈良・平安時代のたまさきのうまや*または関*と推定されている遺跡です。

岩沼市教育委員会による発掘調査が2016年から継続して実施されています。

調査の結果、奈良時代の真北に延びる大溝の延長とおおみぞとそれに囲まれた複数の掘立柱建物跡がみつかりました。この区画された内側の空間とそれに伴う建物は、駅家または関のちゅうすうの中枢施設の可能性が高いと考えられます。

【動画の視聴方法】

QRコードを読み取るか、
れんげもんちゃんをクリック
すると視聴できます。



パネル解説動画



発掘調査動画

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

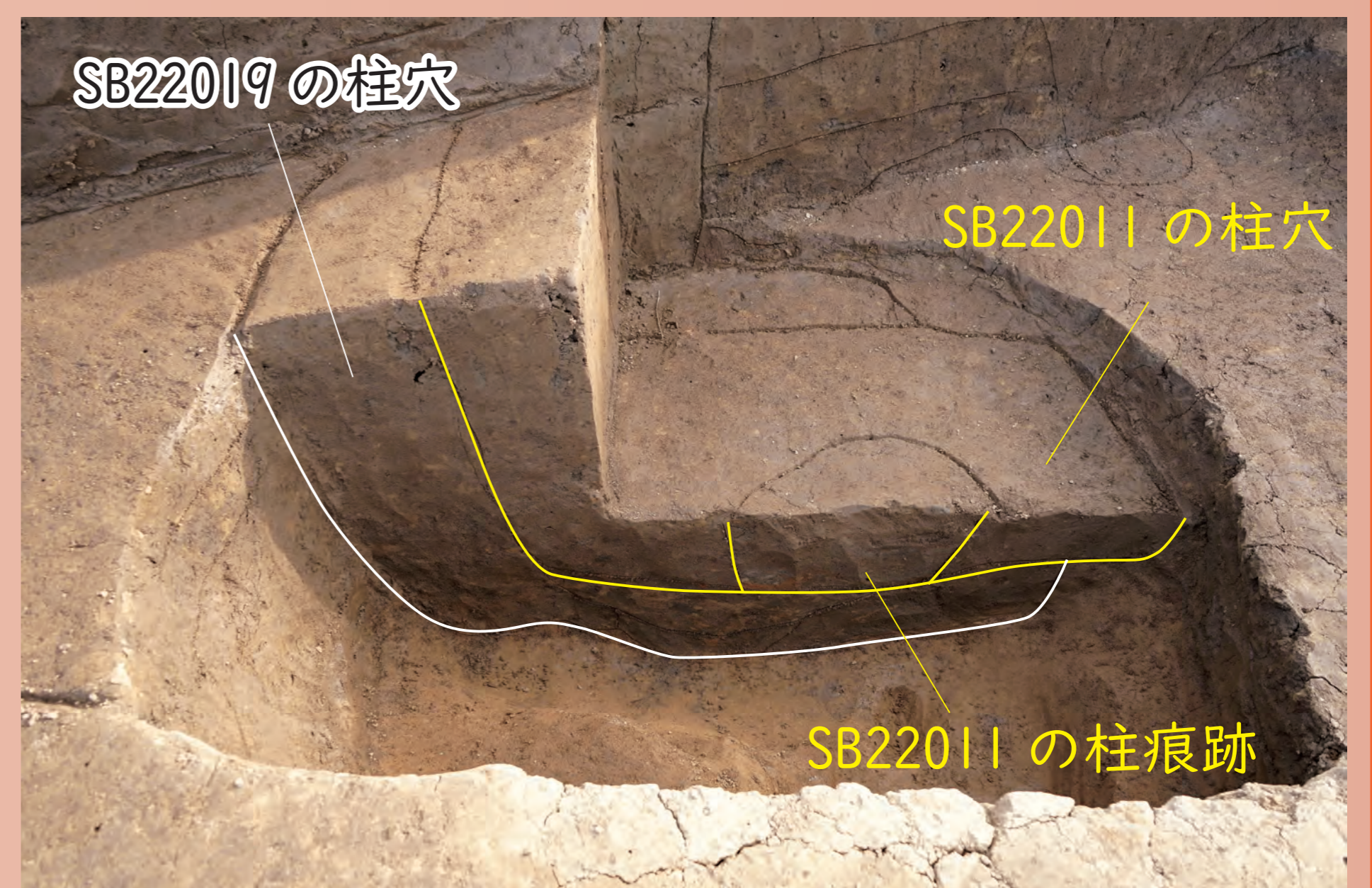
江戸

明治



調査区全景（南から）

おおみぞ
大溝は、真北から東へ直角に曲がるコーナー部分から南へ 45m以上、東へ 16m以上延びることがわかりました。また大溝で囲まれた内側では、大溝と同じ真北を向いた3棟の掘立柱建物跡が計画的に配置されていました。
ほったてばしらたてものあと



SB22011・22019 掘立柱建物跡は同じ場所に同じ規模で建てられており、計画的に建て替えられたと考えられます。

はしらあな
SB22011・22019 の柱穴の断面。それぞれ柱穴は一辺約 70～90cm、柱の痕跡は直径 20～28cm あります。
こんせき